

高知地学研究会会報

第45号

平成28年
10月31日発行

ご挨拶

高知地学研究会28年度総会に向けて

高知地学研究会会長 南 寿 宏

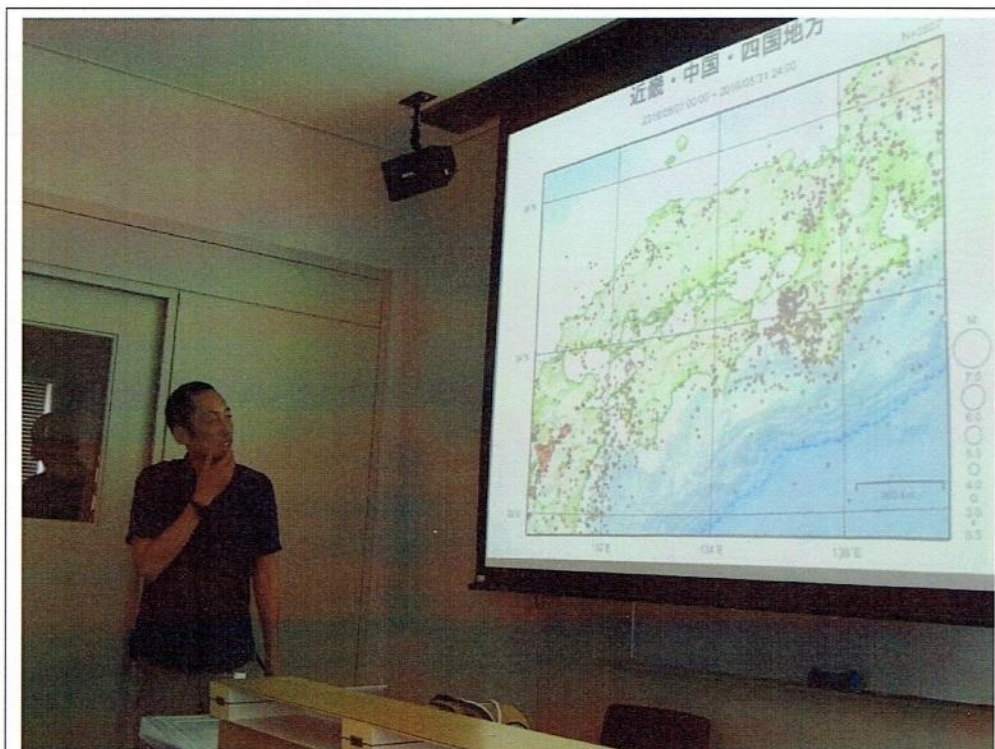
高知地学研究会は、昨年20周年をむかえ、あらたな20年に突入いたしました。これもひとえに会員の皆様方のご支援の賜物と、感謝しております。

吉倉先生には、ご指導ならびに会場提供の労をおとりいただきました。ありがとうございます。藤内智士先生には、ご講演「九州西縁と四国太平洋側のテクトニクスの比較」をいただきます。高知まで聞きにいけないのがまことに残念ですが、竹島先生がきっと報告をして下さるでしょうから、それを楽しみに待っております。

今私は、滋賀で受験塾を任され、小・中学生相手に奮闘しておりますが、休みの日には県内外の地質地形の名所を訪ね、地学の新たな事実に出会い、感激の日を過ごしています。詳しくは、後日、会報でご報告いたします。

ただ、残念なことがございます。草津川の国道トンネルが取り壊されました。せっかくの地形遺産がなくなってしまいました。これも時代の流れでしょうか。無くなる直前に利用できたことだけで、よし、といたしましょう。

それでは、本日の総会・研修会を存分にお楽しみください。ありがとうございました。

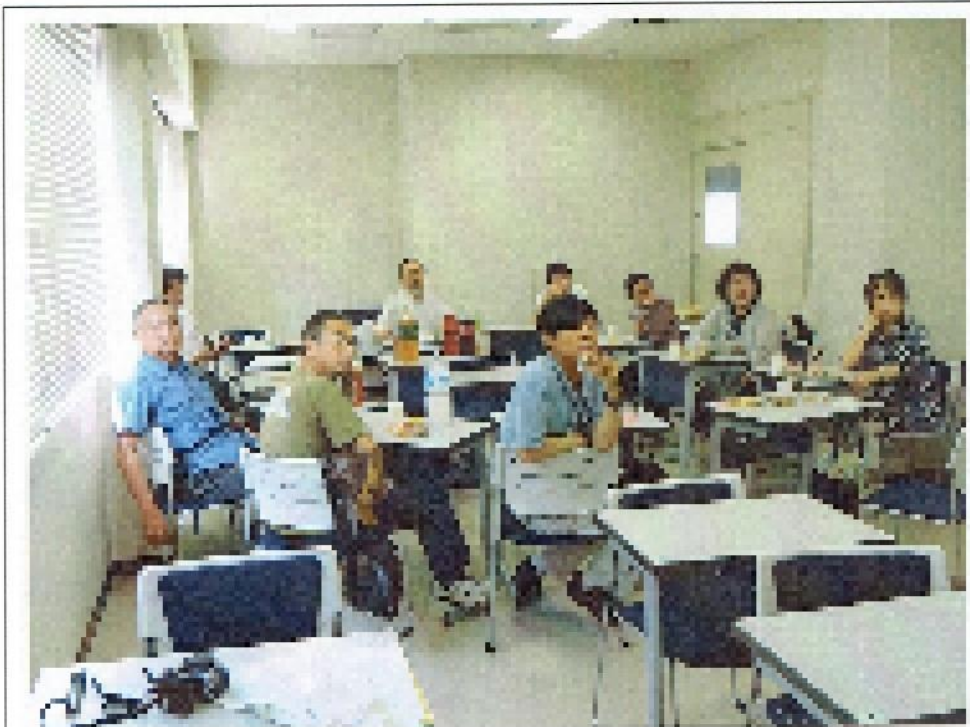


総会後の研修会で講演中の高知大学助教藤内智士先生

平成28年 6 月 26 日

平成28年度 高知地学研究会総会

1. 会長挨拶（代読）
本号表紙に掲載
2. 平成27年度 活動報告
H27.3.15 平成27年度総会
H27.6.28 巡検『街中に高知家の石をみよう（高知市）』
H27.8.31 会誌44号 発行
H27.11.14～15 巡検『別子銅山記念館及び東平銅山跡(新居浜市)・市ノ川鉱山跡(西条市)』
3. 平成27年度 決算報告・監査報告
次ページ
4. 平成28年度 役員
会長：南 寿宏 副会長：竹島洋文 幹事：堅田智英 廣瀬敏行
会計：岡村恵子 会計監査：佐藤慎二 顧問：吉倉紳一
5. 平成28年度 活動方針、活動計画（案）
 - (1) 平成28年度総会 H28.6.26(日) 放送大学高知学習センター 3階小会議室
講演『九州西縁と四国太平洋側のテクトニクスの比較』
高知大学 助教 藤内 智士 氏
 - (2) 地学巡検
H28.10.16(土)・17(日) 岡山県
 - (3) 会報発行
第45・46号
6. その他



講演終了後の茶話会でも議論が続けられました。

2015(平成27)年度会計報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

会計 岡村 恵子

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越	258,821	会報作成(44号)	16,700
27年度正会員32×2000	64,000	通信費	23,400
27年度家族会員4×3000	12,000	メール便	3,248
26年度正会員1×2000	2,000	消耗品費(文具)	301
		インク代	3,285
		合計	46,934
		次年度繰越	289,887
合計	336,821	合計	336,821

繰越金内訳

現金	68,487
徳島貯蓄センター	221,400
合計	289,887

会計監査報告

会計に関する証書類について、慎重かつ厳正に監査いたしましたところ、帳簿の記載は正確で、領収書類についても適切に保存されており、公正かつ正確な執行であったことを認めます

2016年3月 31 日

会計監査 佐藤 慎二 

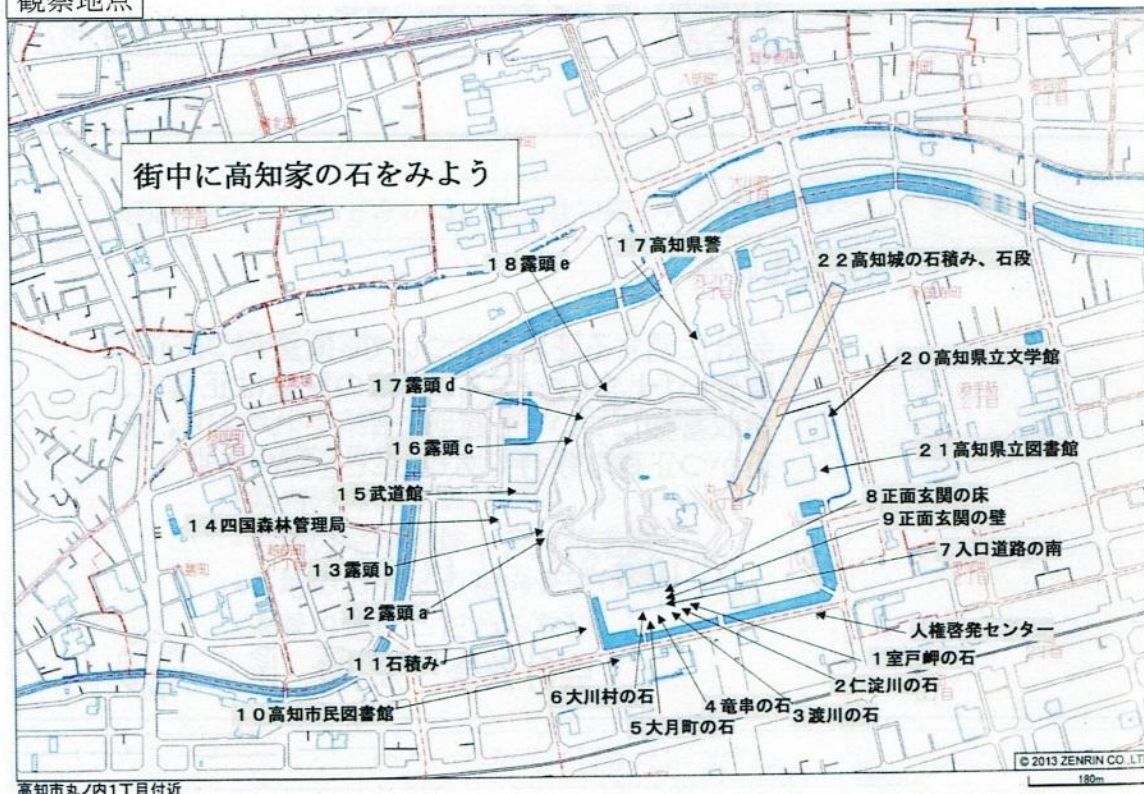
『街中に高知家の石をみよう』

幸いにも梅雨の晴れ間となった平成27年6月28日に、高知城周辺の巡検を行いました。講師を本会顧問、吉倉紳一氏にお勤めいただきました。高知市中心街では、建築・構造物に覆われて露頭が少ない中で、わずかに残されたものを見ることができました。また、県庁前には本県を代表する岩石が展示されていたり、さまざまな岩石が建築物の石材として利用されたりしていることがわかりました。建物の設計者は、地元の石材を活用し、高知のよさを認識し、それをアピールしようと考えていたのではないかと思います。

今回の巡検を機会に、高知県の貴重な自然の財産を伝え、みんなで守ろうという意識が高まったように思います。今後、高知の材木や石材を積極的に活用した建築物・構造物を作ってもらいたいものです。なお、平成28年8月現在、巡検実施時にあった高知市民図書館はありません。

後ろに、参加者の観察ノートに基づき、巡検の様子、巡検の観察地点、岩石の観察結果をまとめたものを示します。今回の巡検では、市街地での観察は交通の便がよく集まりやすく足元が安定しているためか、予想を超える19名の参加者があり、参加者の年齢幅もいつもに比べて広くなりました。参加者は、観察し、クイズ形式により火成岩・堆積岩・変成岩の区分を行い、後でその岩石の観察結果や岩石名を確認しました。巡検後半では知識・理解が進み、自分で判別できるようになりました。参加されなかった方はぜひとも今回の会報を手にして訪ねてみて下さい。街中では国内外の岩石が多く使われており、天候にあまり左右されずに巡検ができそうです。会員のみなさんから、露頭に限らず街中に「この場所に、こんな石がある」、「ここで観察できそう」など情報をいただき、『街中に（高知家の）石をみよう』の多様なバージョンを作りたいですので、よろしく願いいたします。

観察地点



主な観察地

	
1 室戸岬の石 様々な大きさの火山岩のレキを含んでいます。ハイアロクラスタイト（枕状溶岩）という掲示板がありますが、岩石の分類では火山角レキ岩としました。	6 大川村の石 板状で薄い緑色の層が見られる。この緑色は緑れん石、緑泥石が含まれているため。変成岩で元の岩石は、玄武岩質の火成岩です。緑色片岩で、岩石の分類では結晶片岩とされます。後方には、旧高知市役所が見えます。
	
10 高知市民図書館 赤っぽいピンク色に灰色を混ぜたような層が見られる。ウミユリ、クサリサンゴ、ハチノスサンゴが見られ「土佐桜」として装飾石材として用いられている。岩石の分類では石灰岩です。今は建物はありませんが、四国森林管理局で見られます。	18 露頭 e フズリナの化石がみられる。標石では、石灰岩塊となっていますが、岩石の分類では、石灰岩レキを含むレキ岩です。高知市保存天然記念物に指定されているため、平野部で道を挟んで残されています。先人の方々に感謝です。
	
20 高知県立文学館 建物の外壁は、赤を基調とする様々な岩石が使われている。定礎については紅れん石片岩で、岩石の分類では結晶片岩です。かつてここは、郷土文化会館で県展の作品等の展示がされていました。	22 高知城の石積み、石段 高知県に分布し、風化浸食に耐え築城の岩石と利用されています。放散虫（プランクトン）の遺骸が深海で堆積してできたものです。堆積岩で岩石の分類では、チャートです。

当日配布資料 何の石でしょう

No	場所	岩石の区分	特徴	岩石名
1	室戸岬の石			
2	仁淀川の石			
3	渡川の石			
4	竜串の石			
5	大月町の石			
6	大川村の石			
7	入口道路の南			
8	正面玄関の床			
9	正面玄関の壁			
10	高知市民図書館			
11	石積み			
12	露頭 a			
13	露頭 b			
14	四国森林管理局			
15	武道館			
16	露頭 c			
17	露頭 d			
18	露頭 e			
19	高知県警			
20	高知県立文学館			
21	高知県立図書館			
22	高知城の石積み石段			

当日配布資料 何の石でしょう [赤色の部分は、参加者が記入したもの]

No	場所	岩石の区分	特徴	岩石名
1	室戸岬の石	堆積岩	礫（火山岩）を含む。 ～20cm、丸いレキあり。	火山角レキ岩
2	仁淀川の石	堆積岩	層がある。硬い。	（赤色）チャート
3	渡川の石	堆積岩	すべすべ。	砂岩（細粒）
4	竜串の石	堆積岩	穴あり。	砂岩
5	大月町の石	堆積岩	ザラザラ→粒が荒い。	砂岩
6	大川村の石	変成岩	層が見える。（層が薄い）・・・片理。片理面が発達。 緑色・・・緑れん石、緑泥石が含まれているため。	緑色片岩
7	入口道路の南	変成岩		緑色片岩
8	正面玄関の床	堆積岩 変成岩	黒色（階段の下）、赤色（入口）で、丸く埋め込まれている。	チャート 紅れん石片岩
9	正面玄関の壁	火成岩	流れるような線の模様あり。 鉄分が水にとけて、水酸化鉄になって模様ができた。 元々は模様がついていない。1400万年前	流紋岩（とら石）
10	高知市民図書館	堆積岩	ウミユリ、サンゴの化石あり。 赤道付近で、シルル紀中～後期の4億3000万年前にできたもの。cf. 鳥形山のものは約2億年前。	石灰岩（土佐桜）
11	石積み	堆積岩	灰色。ザラザラ。	砂岩
12	露頭 a	変成岩	元々は、かんらん岩。土壌改良剤や造宰剤として利用。 逢坂峠、円行寺、妹背に見られる。 黒瀬川構造帯に見られる。	蛇紋岩
13	露頭 b	変成岩		蛇紋岩
14	四国森林管理局	堆積岩	ウミユリ、ニッセキサンゴ、ハチノスサンゴ、クサリサンゴが見られる。	石灰岩（土佐桜）
15	武道館	堆積岩	プランクトン（放散虫）の死骸・・・マリンスノー、 深海6000m。	チャート
16	露頭 c	変成岩	角せん石（黒色）からなり、4億1000万年前のもの。	角せん岩
17	露頭 d	変成岩	黒瀬川構造帯（土佐桜に代表される化石を含む地層、火成岩、変成岩など）を構成するもので、 Gondwana 大陸のかけら。南半球からやってきた。	角せん岩
18	露頭 e	堆積岩	レキは石灰岩。二畳紀のフズリナ化石を含む。 2000mより浅いところにできた。CaCO ₃ は高水圧でとける。	石灰岩のレキを含むレキ岩
19	高知県警	堆積岩	海外の石灰岩。石灰岩がとけて、つらら状になった部分あり。中国、ニュージーランド、トルコなどから輸入されている。	石灰岩
20	高知県立文学館	いろいろ	赤色の岩石（堆積岩、変成岩）が見られ、産地も様々と思われる。	
21	高知県立図書館	いろいろ		
22	高知城の石積み 石段	堆積岩	塊状、層状。色も様々。	チャート

高知地学研究会20年

高知地学研究会会長 南 寿宏

高知地学研究会を、紙芝居方式で振り返ります。本稿は、2015総会の発表原稿の一部です。

設立趣意

- ・人類と地球環境の調和による地球環境の保護
- ・地学危機の脱却
- ・地学教育縮小対応
- ・地震、台風等による自然災害防止
(南海地震は2038年(尾池))
- ・そして楽しい時間を過ごしましょう

実に格調高い。かっこいいよ、神一屋！

本会の目的

- ・地学の進歩と普及を目指す
- ・会員相互の連絡を図る

本会の活動

- ・総会・講演会
- ・地学巡検
- ・会報
- ・執筆出版
- ・普及促進

実現できているかどうかは、第三者の厳しい目にゆだねたいと思います。

地学巡検

- ・年に1～2回(3回のときもあった)
- ・1回は日帰り、1回は1泊
- ・県内外の地質名所訪問
- ・各地の地学団体との交流を図る
- ・各地のガイドの案内を受ける
- ・未踏の地にこだわらない

いろいろな所に行きたいですね。

未踏の地にこだわらない

- 有名な地点は会発足当初に踏破
- 巡検地が限られ、より専門的、マニアックになる
- メンバーは毎年入れ替わる
- 新しいメンバーが過去の巡検地に行ける
- 巡検後、新研究・発見がなされる
- ジオパーク指定等でガイド活動が充実する

希望をおっしゃってください。

今までの巡検地



今まで、こういうところに行きました。

徳島県大歩危峡の結晶片岩



ここへは行けなかったなあ、私は。

これからの高知地学研究会

- 新しいメンバーの勧誘（若い力の導入）
- 外部団体との交流
（県内外のジオパーク）
（県外の地学愛好団体）
- 海外巡検
- 新規事業の参画

これからも一緒に楽しみましょう。

吉倉エレキテル連合に乾杯！



発表当時流行のフレーズで、時の移ろいを感じますが、どうぞよろしく。

編集後記

■今年は台風の上陸が多いですね。その雨の中、会報を編集しています。お元気ですか。滋賀県での生活も1年半、コロナ社の「滋賀県地学のガイド」を片手に、ご当地の地学名所を愛車で取材しています。先日は、河川争奪の現場、百瀬川と石田川を見てきました。紙面の関係で報告は次号になることをご容赦ください。滋賀巡検の際には、ご案内いたしますので、「滋賀に行きたいよう」と、竹島副会長にプレッシャーをおかけください。珍味『鮎鮓』がお待ちしております。